

本町通りに特別養護老人ホームなど介護福祉施設を建設 2月に工事着工 12月に開所予定

土地区画整理事業がすすめられている本町通りの4街区に社会福祉法人「なごみの杜」が、地域密着型特別養護老人ホーム（20床）と看護小規模多機能型居宅介護サービス、訪問介護ステーションなどを併設した3階建ての介護福祉施設を建設します。（延べ床面積約2,100㎡）

3階につくられる看護小規模多機能型居宅介護サービスは、宿泊、通い、訪問看護・介護を包括的におこない医療的な処置が必要な人でも在宅で介護が受けられるサービスを提供します。

地域密着型の特別養護老人ホームは、2階につくられます。

工事は2月に着工し、施設は12月開所の予定です。



沼田市の人口合併後減少が止まらず高齢化がすすむ

平成17年（2005）に沼田市と白沢村、利根村が合併し、新沼田市が誕生し、当時の人口は55,618人（旧沼田46,477人、旧白沢3,852人、旧利根5,289人）でしたが、今年の1月1日現在で人口は49,012人（旧沼田41,327人、旧白沢3,701人、旧利根3,984人）となり、人口は合併後6,606人減少しました。

高齢化率は、23.41%から31.69%となり高齢化がすすみ、沼田市にとって人口減少対策や高齢者福祉が重要な課題となっています。

住民の力作がせいぞろい

川田公民館で第51回川田地区民展が開かれ、川田公民館での講座受講者や川田保育園、川田小学校、西中学校の児童、生徒などの作品が展示されました。

川田城主の娘で、和歌に優れていた円珠姫の資料や紹介のコーナーも設置されました。



雪と氷、落下する自然の技術作品

きびしい冷え込みがつづくなか、平川の不動滝が部分的に氷結しこの季節ならではの姿を見せています。

平川の不動滝は、平川古滝庵不動尊にあり、高さ約30㍍の滝です。

4月28日には、不動尊のおまつりがあり、行者や参拝者が不動滝に打たれる行がおこなわれます。



2018年2月4日

NO. 556

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



「加計」疑惑をめぐっても事前に今治市の関係者が安倍首相の秘書官と接触していた疑惑が浮上し、「国家戦略会議」の関連会議に「加計学園」の関係者も同席していたことが判明するなど、国有地の利用や国の権限、税金の支出が安倍首相とその周辺によって歪められたという国政私物化の疑惑です。

「森友」疑惑では、名誉校長を務めていた昭恵氏の働きかけが背景になって9割もの値引きがされたのではないかと指摘されながら、財務省は資料は廃棄したと国会で説明を拒否しましたが、口裏合わせともいえるべき音声データが存在し、財務省の検討記録が残っていたことも明らかになり、国民も国会も欺くものだったことを示す重大な事実です。

「加計」疑惑をめぐっても事前に今治市の関係者が安倍首相の秘書官と接触していた疑惑が浮上し、「国家戦略会議」の関連会議に「加計学園」の関係者も同席していたことが判明するなど、国有地の利用や国の権限、税金の支出が安倍首相とその周辺によって歪められたという国政私物化の疑惑です。

こんにちは 大東のぶゆき です

続ぶらり散歩 めまた道 白沢町あれこれ 特別編その八

高平の書院と五葉マツ

県指定重要文化財の高平の書院は、四代沼田藩主の真田信政が慶安2年（1649）に宿割等を行なったおり、建てられ、当時は7棟の建物があったと伝えられています。



信政は、沼田藩主の18年間に新田開発、用水やため池工事、宿割などを積極的におこない、現在残る用水やため池、堤などの多くはこの時代につくられ、栄町、原町、沼須宿、月夜野宿などの宿割がおこなわれました。

高平の書院にある五葉マツは、高さ18㍍、根元周囲6.7㍍、推定樹齢約400年で、書院の庭木として植えられたと伝えられており、利根沼田ではまれに見る巨樹です。

尾合の庚申塔

尾合下の県道沿いにある庚申塔は、高さが2㍍を越える大きなもので、彫られている庚申の文字は、萩原賢和（はぎわらけん）の書です。

萩原賢和は、宝暦9年（1759）に片品村で生まれ、賢和の笹字と称される独自の篆書体を完成させ、神社や旧家に招かれ多くの書を残しました。

